

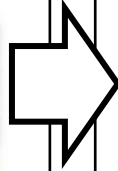
旧福住幼稚園利活用事業について

【当初予定】

平成28年10月からの施設オープン

【実施予定の事業】

- 障害者福祉事業
- 地域交流事業
 - ・子育て支援
 - ・絵画教室等
 - ・テレワーク
 - ・事業に支障のない範囲で施設利用の受付



【予定の一部修正】

子育て支援を中心とした地域福祉事業の一部開始

【事業内容】

週1回 水曜日 15:00~17:00

- 学校終わりの小中学生、幼児などが集える場所の提供(絵画教室等の実施)
 - パソコン・インターネット、テレワーク設備の利用
 - 事業に支障のない範囲で施設利用の受付
- ※健康相談事業は今後、月1回程度 水曜に実施予定

【今後について】

計画事業の実施は用途変更の完了を待って行う。



〈使い方イメージ〉

小学校が早く終わる水曜日。

子どもたちは放課後、みんなで集まって宿題したり、音楽を楽しんだり、絵を習ったり。

保護者の方もお迎えや付き添いの合間にインターネットを利用してちょっとした調べ物などができます。



【今後の事業開始の課題】

- 施設用途の変更が必要とされる可能性のある法的手続(見込)
 - ・都市計画法上の用途変更(都市計画法34条・41条)
 - ・建築基準法上の建物用途の変更(建築確認)

【用途変更上求められていること】

- 敷地境界の確認
- 土地の再測量・登記修正
- 上記の書類・図面整備



調査・手続きに要する時間を勘案して
来年秋頃までの全面オープンを予定



移住・定住促進事業

〇ライフスタイルブック作成概要(11月時点)

【方針】

高原地区での生活の在り方をなるべく現実に即した形で伝えるとともに、生活に必要な暮らしの情報を提供し、地域への理解を深めながら移住・定住を検討する効果的なプロモーション材料を作成する。

【構成】

生活イメージ紹介と地域情報提供の2部構成を想定。

<前半> ライフスタイル

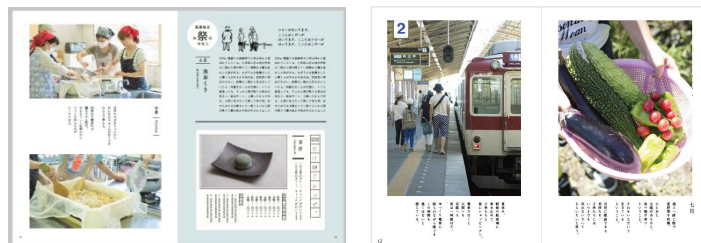
- 〇現実感のあるイメージを与えることを企図し、ある母親の月ごとの日記調の紙面構成とする。
- 〇モデルとして山田町のご家族に協力のもと、現在取材進行中。

<後半> インフォメーション

- 〇移住にあたり必要となる暮らしの情報（交通アクセス・買物・教育・医療）
- 〇地域情報（各町の様子・年中行事）
- 〇移住に関するQ&A

<ラフイメージ>

※今後の編集等により変更の可能性があります。

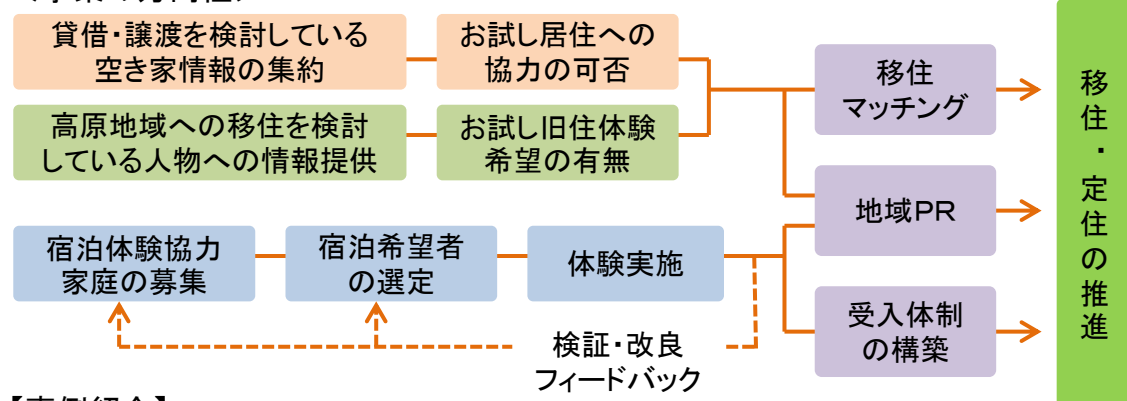


<取材の様子>



〇お試し居住体験

<事業の方向性>



【事例紹介】

- ・木村 勇 委員の天理大学留学生のホームステイ受け入れ(11月22日から24日)
- 平成28年10月期からの短期留学生

【空き家】

協力いただける福住町の空き家を主体に、移住希望者への体験機会を提供。地域の伝統行事等の機会に合わせ実施し、移住検討段階から地域との交流を図る。空き家調査と連動し、協力いただける空き家所有者の方を引き続き募集していく。

【民泊体験】

地域のご家庭の協力の下、天理市にゆかりのある方に宿泊機会を提供し、地域内外の交流促進を図るとともに、地域PRの機会とする。受け入れに協力いただけるご家庭を広く募集していく。

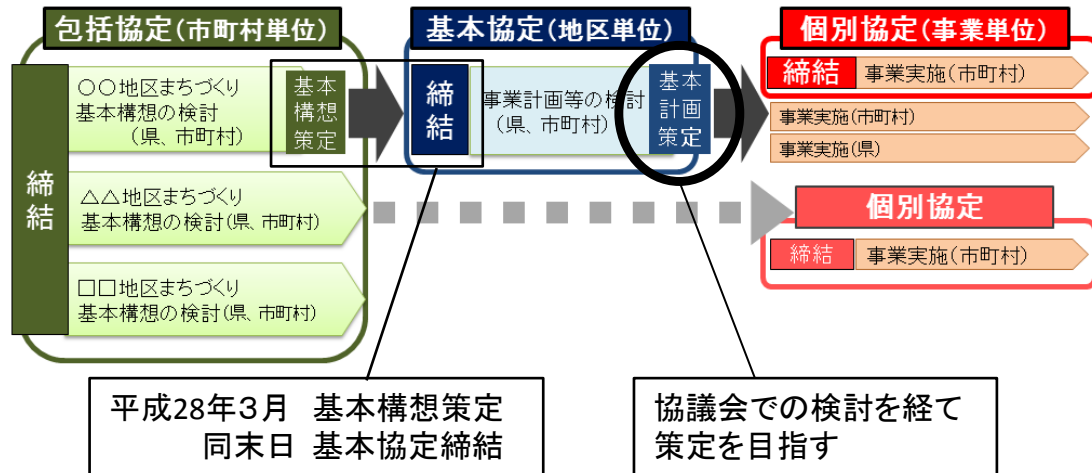
事業計画

○ 県市連携に基づく基本計画の策定について
 奈良県とのまちづくり協定に基づく連携体制の構築のため、
 昨年度末に策定したまちづくり基本構想を踏まえて、まち
 づくり基本計画を策定する。

基本計画では、基本協定の中で掲げられた方針に沿って、
 各事業の内容等を具体化していく段階となる。
 策定後は基本計画に従い、各事業ごとに個別協定を締結し、
 事業を進めていくこととなる。

基本構想・基本計画の中で明確に定められていないもの
 については県市連携事業とみなされない。
 円滑な事業実施には、基本計画策定段階において地域の
 実情を的確に盛り込んでいくことが求められる。

＜連携協定の構造図＞



＜連携協定の構造図＞

	H28	H29				H30				
		春	夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	
県市連携	まちづくり基本計画の策定					基本構想・基本計画に基づく個別事業				
移住定住促進	個別協定による事業予定									
		PR	PR	PR		PR	PR			
		お試し	お試し			お試し				
		移住フェア			移住フェア			移住フェア		

現状・課題

取組方針

事業

農業

耕作放棄地の拡大・増加
後継者確保の困難
鳥獣害による経営阻害
寒冷気候による栽培制限

- 耕作放棄地の利活用促進
- 農業体験、市民農園等の設置
- 特産品の開発・栽培促進支援
- 新たな収益作物の栽培支援
- 作物販売機会の創出

- ・酒米作付事業
(天理ブランド推進協議会)
- ・田植え/稲刈体験
(上山田農地保全会)
- ・週末農業による農地活用
(長滝町)

観光

観光拠点の点在化による連携不足
観光資源の情報発信不足
伝統行事の保存
広域交通アクセスの活用

- ウォーキング・サイクリングでの周遊推進による観光資源との連携・コース誘致
- 他地域と連携した観光資源PR
- 文化資産や観光資源の継承と活用・拡大
- 回遊性の向上を目指した道路整備
- 調和した観光案内サイン・案内板の補修・整備

- ・長い滝の整備
(長滝復刻堂本舗)
- ・大和高原地域とのPR連携
(山添村/天理高原スポーツフェスタ)

人口

人口減少・少子高齢化
地域住民が集う場所の減少
青年団等の中間組織の衰退
催事・行事等の共同生活の維持
空き家や休止施設の活用

- 空き家を活用した定住人口維持・増加を目指す移住促進支援
- 地域住民の集いの場づくり
- 多世代交流の拠点づくり
- 空き家改修助成
- 交流人口増加を目指す民泊推進
- 移住交流施設との連携・コンシェルジュ配置

- ・旧福住幼稚園利活用事業
(NPO法人誠優会
地域・多世代交流拠点)
- ・移住定住促進事業
(PR活動・お試し移住体験
空き家調査)
- ・小規模特認校制度

交通

自家用車以外の日常交通手段が乏しい
生活道路の安全性の確保

- コミュニティバス等の移動支援の充実
- 生活道路の安全確保のための道路整備
- 国道25号線整備による交通利便性・域内安全性の確保

- ・公共交通施策の検討
- ・買い物支援に向けた検討
(民間事業者等事業の調査)

仕事

雇用場所の減少

- 多様な働き方を提供する環境づくり
- 雇用創出の場づくり

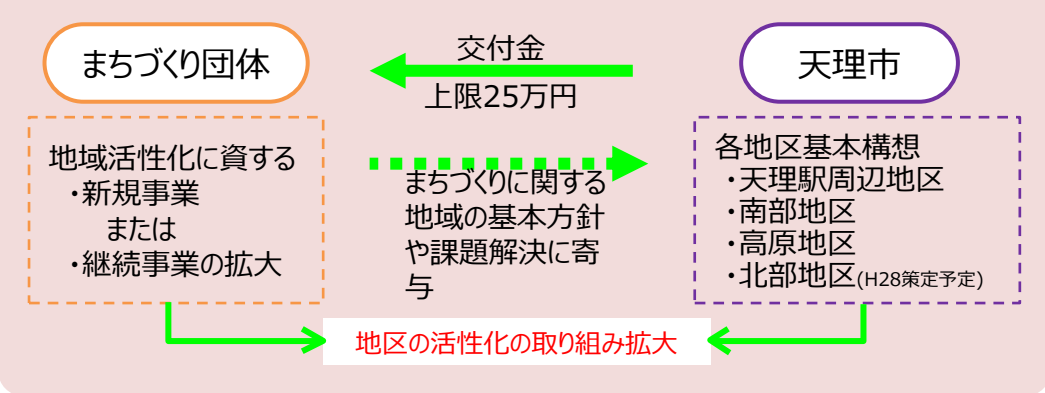
- ・テレワーク拠点整備

< 交付金の目的 >

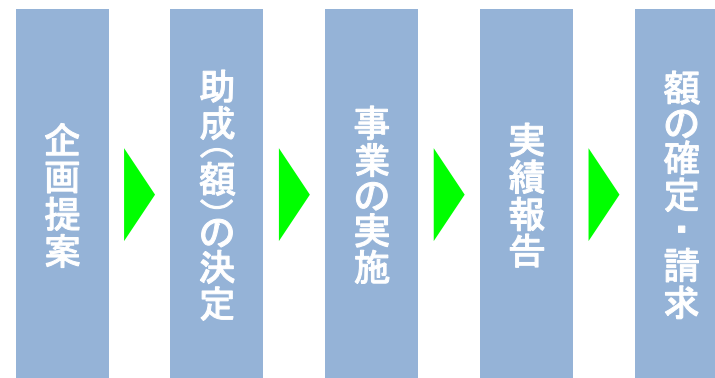
市内各地区の街づくり協議会における意見や協議を踏まえて策定した各地区の基本構想について、そこに定める地域の基本方針や課題解決に資すると認められる地域主導の取組に対しては、その意欲・熱意を汲み取り、事業の拡大や具体的新規事業化に向けて迅速な財政支援を図る必要がある。

市内のまちづくり団体やグループ等が提案及び実施する創意工夫にあふれた自主・主体的な地域の活性化の取組に対し、予算の範囲内において助成金を交付する。

< 助成事業スキーム >



< 助成事業の流れ >



< 助成対象者 >

- ・天理市内を主な活動場所とする構成メンバー3人以上の規約等を有する団体
- ・企画提案のあった事業の実施・運営について責任をもって実施し、事業の成果報告ができる団体であること
- ・政治活動、宗教活動及び営利活動を主たる目的としていないこと

< 助成対象経費 >

助成対象事業を実施するために必要な経費（人件費及び食糧費、他の補助金の対象となった経費を除く。）

< 助成対象事業 >

地区基本構想に合致する地域活性化に資する事業とし、継続的な自立運営が可能であると認められる自主・主体的なものであること。

- ・新規性 … 地域ならではの創意工夫による個性的な内容であり、かつ新しい発想がみられるか。
- ・意欲性 … 提案した事業を確実に遂行できる企画、組織体制となっており、旺盛な意欲や熱意がみられるか。
- ・ニーズ … 地域住民のニーズに合っている、地域が抱える課題を解決する方向性を持っているなど、事業の必要性や重要性が高いか。
- ・実現性 … 企画・運営、組織編成、自己資金調達方法、各種の手続き等について具体性があり、実現可能な方法で計画されているか。
- ・発展性 … 他の地域活性化につながるモデル事業としての波及効果が期待できるか。補助終了後も発展の見込める事業内容か。

・観月会(9月)



・蛍のさと de 稲刈体験(10月)



・『天理のおっさん』企画(10月～)



・天理高原スポーツフェスタ(8月)



・1,000人キャンプファイヤー(8月)

